

全国からの温かい寄付・寄贈に感謝

令和3年度に全国の皆さんから町へ届いた寄付金は、1万6814件で2億5455万2477円。そのうちふるさと納税による寄付は2億4016万8千円となりました。

町では、この寄付金を寄付の目的に合わせ、基金に積み立てた後、町の貴重な財源として、各種事業に活用していきます。主な使いみちは、産業振興、環境・生活基盤の整備、福祉事業などで、企業版ふるさと納税は、まち・ひと・しごと創生事業に活用します。

このほか、各種団体の方々から、遊具やスポーツ用品、食料品などの多くの寄贈をいただきました。

心のこもった温かい寄付と寄贈に深く感謝し、今後も本町のさらなる発展に向けて事業を進めていきます。

◎寄付の状況(令和3年4月～4年3月)

寄付の種類	寄付の目的	件数	寄付金額
一般寄付	一般財源	198件	11,534,477円
	教育関係	2件	150,000円
	土木関係	1件	2,500,000円
	産業振興	2,852件	42,563,000円
ふるさと納税	環境・生活基盤	1,476件	20,738,000円
	福祉	706件	9,857,000円
	子育て支援	3,875件	53,996,000円
	教育・文化	748件	10,531,000円
	地域づくり	630件	8,820,000円
	その他	245件	4,250,000円
	新型コロナウイルス感染症対策	669件	9,873,000円
	町長におまかせ	5,410件	79,540,000円
	企業版ふるさと納税	2件	200,000円
	まち・ひと・しごと創生事業		
合計(うちふるさと納税)		16,814件(16,611件)	254,552,477円(240,168,000円)

◎寄贈の紹介

(①贈呈日②寄贈内容③町の使いみち)

■(株)NTTドコモ東北支社



- ①令和4年4月22日
- ②ブランコ(1基)、スイング遊具(3台)、ベンチ(1基)
- ③ちびっこ公園に設置(設置日:令和3年12月15日)

(株)ドコモCS東北百々
ゆういちろう
雄一郎岩手支店長(左)

■陸中山田ライオンズクラブ



きよし 会長(左)
【1月7日撮影】



会長(左)、濱登健康子ども課長(右)【3月28日撮影】

- ①令和4年1月7日、3月28日
- ②レトルト食品(370食)、食料品(米や乾麺など)、生理用品(40袋)、ハンドソープ(24本)など
- ③町内の生活困窮世帯や子どもが多い世帯、子ども食堂、避難所などに配布

■東北楽天ゴールデンイーグルス



- ①令和3年12月22日
- ②少年野球用ベース(1～3塁)、記念帽子(1個)
- ③▶ベース…町民総合運動公園の備品として使用▶帽子…イベントなどで展示

球団のマスコットキャラクター・クラッチーナ(右)

■第一生命保険(株)



- ①令和3年12月2日
- ②マスク(1,068枚)
- ③新型コロナウイルス感染症対策に使用

よしひか
野田佳孝宮古営業
オフィス長(右)

■東北電力ネットワーク(株)宮古電力センター ■(株)ユアテック宮古営業所



- ①令和3年10月25日
- ②LED防犯灯(14灯)
- ③町内各地区に設置

よしじ
村上善滋宮古電力センター所長
(左)、大森清功宮古営業所長(右)

町長室から

毎年6月に開催している「ふる里山田同郷の会」を熟考のうえ、中止するとうお手紙が同会の小川徹弘会長から届いた。今年で3年連続の中止である。コロナ禍とはいえ、誠に残念としか言いようがない。東日本大震災から2年目の3月頃に同会幹事会が開催され、町長になったばかりの私が招待された。復興の課題やNPO問題などもあり、ふるさとを遠く離れている先輩の皆様は心配だったと思う。当時はふるさと山田復興のために頑張るよう激励を受けたものである。その年の6月に開催された本会は盛大なものとなった。終わりにには全員が立ち上がり、会場いっぱい大きな輪を作り、涙を流しながら「故郷」を合唱したことがまるで昨日のようだ。会長のお手紙にもあったが、来年こそはマスクを外し、笑顔で開催したいと心より思う。その際には郷土芸能も皆様に披露したい。

山田町長 佐藤 信逸